

# 初の蔵見学、実現

## 地場産業「焼酎」を知る

### 保健委員会 高校「飲酒防止教育」

#### 20歳未満の飲酒防止教育

【鹿児島県】昨年12月23日、鹿児島県立豊後高等学校(豊後市吉町)の生徒10人が本校保健委員会の「飲酒防止教育」の一環として、地場産業「焼酎」の蔵見学を行った。

本報記者が取材した。同校保健委員会の委員長(約30人)は、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の重要性や、焼酎の歴史や製造工程について学ぶ機会を得た。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

当日の蔵見学には、焼酎の蔵元と、紙パックやペットボトルの工場、焼酎の製造工程、焼酎の歴史や製造工程について学ぶ機会を得た。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎は元来、地場産業として発展してきた。しかし、近年は輸入酒の増加や、焼酎のイメージの悪化などにより、地場産業としての地位が危ぶまれている。この蔵見学を通じて、焼酎の歴史や製造工程について学ぶ機会を得た。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

2通期は「20歳未満飲酒防止教育」の一環として、焼酎の蔵見学を行った。当日の蔵見学には、焼酎の蔵元と、紙パックやペットボトルの工場、焼酎の製造工程、焼酎の歴史や製造工程について学ぶ機会を得た。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

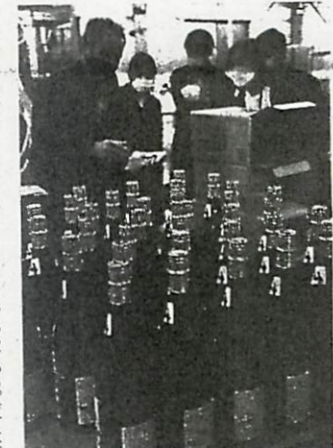
焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。



鹿児島県立豊後高等学校を訪問した2022年12月23日

焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。また、焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。



焼酎の蔵見学を通じて、地場産業の活性化や、地場産品の認知度を高めることも目指している。